

Sound

住友病院だより【さうんど】

一般財団法人
住友病院

vol. 67

2025 AUTUMN

特集

脳神経内科

- 先生教えて！
歯科定期検診ではどのようなことをしているの？
- 連携医療機関
なんば山田クリニック
社会医療法人協和会
ハートフルクリニック
- INFORMATION

ご自由にお持ち帰りください

脳神経内科

どのような症状で

「脳神経内科」を

受診すればよいのでしょうか？

脳神経内科と聞くと「脳の疾患だけ？」と思われがちですが、神経系とは脳、脊髄、末梢神経、自律神経も含まれます。頭痛や意識障害、てんかん、しびれ感、筋萎縮、筋力低下、認知機能低下などが感じられた時は脳神経内科を受診したらよいかも、と思われるでしょう。

しかし、下表のような症状も脳神経内科の病気かもしれません。

脳神経内科が扱う病気は多彩な症状を呈します。お困りの時は迷わずご相談ください。

住友病院では、問診と神経学的診察で疾患の目星をつけ、画像診

断（MRIやR I検査）、電気生理学的検査（専門医が2名在籍）、高次脳機能検査などで精査していきます。

また、治療も進んできており、片頭痛の予防薬や多発性硬化症・視神経脊髄炎の再発予防なども可能になり、アルツハイマー型認知症の進行を遅らせる治療も始まりました。2020年からは脳の血管内治療も可能になっています。

当院では今年（2025年）1月から脳神経内科当直も始まり、24時間体制で対応しています。

こんな症状が出たら、脳神経内科へ

- 寝言をよく言うようになった、便秘がち、匂いが分からなくなった ▶ **パーキンソン病**
- 夕方になると瞼が下がる ▶ **重症筋無力症**
- よく転倒するようになった ▶ **脊髄小脳変性症**
- 繰り返すしゃっくり、嘔吐 ▶ **視神経脊髄炎**
ほんたいせいしんせん
- 手足が震える ▶ **パーキンソン病、本態性振戦**
- 眼が見えなくなった ▶ **視神経脊髄炎**
- 尿が出にくくなった ▶ **多系統萎縮症**



院長補佐
兼 脳神経内科診療主任部長
兼 薬剤部門長

にしな かずと
西中 和人



宇高 不可思主任部長 着任



亀山 正邦先生 院長着任



藤田 真佐之先生 着任



住友病院 神経内科開設



宮崎 元滋先生 着任

1960年頃の住友病院



住友病院 脳神経内科56年の歴史

脳卒中治療

脳卒中治療は時間が命
「TIME IS BRAIN！」

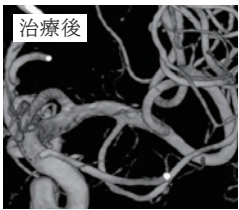
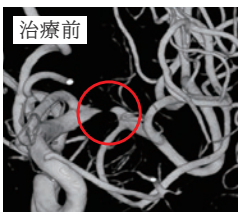
脳卒中は、脳や首の血管が原因で「人体の中で最も大切な脳」が障害される病気です。脳卒中には3つの病型、「脳梗塞」、「脳出血」、「くも膜下出血」がありますが、いずれもいったん発症すると急速に脳の損傷が進行します。

ある研究によれば、大血管の閉塞による脳梗塞では、「わずか1時間で1億2千万の脳細胞と714kmの神経線維が死に至り、ヒトは平均

3.6年寿命が縮まる」と試算されています。まさに、「時は金なり」ではなく、「時は脳なり(TIME IS BRAIN)」なのです。

脳卒中になっても困らない
地域を目指して

当院では、5年前に「脳卒中・脳血管内治療室」、4年前に「ストロークユニット(脳卒中専用病床)」を開設。「24時間365日の脳卒中受け入れ」を開始し、以来一日も休まず多くの患者さまを受け入れてまいりました。当院では、発症4、5時間以内の脳梗塞に対するアルテプラザー静注療法(血栓溶解療法)や血栓回収療法、そしてあらゆるカテーテル手術を真夜中でも受けていただけます。日本脳卒中学会「一次脳卒中センター」および「教育施設」にも認定されています。



脳動脈狭窄に対する血管形成術

あなたの脳を守る
24時間365日眠らない
脳神経救急

今年1月から脳神経内科と脳神経外科のスタッフが、24時間365日院内に常駐し、脳卒中をはじめとする脳神経救急疾患に対応する取り組み(ニューロ当直)を開始しています(SAVE A BRAIN PROJECT)。この取り組みは、前述したような脳の壊れやすさ(TIME IS BRAIN)と、「脳を守ることがその人の人生そのものを守る」という我々の信念から開始いたしました。我々は、救急隊や近隣の医療機関と直接つながる専用電話(脳神経救急ホットライン)を常時携帯し、地域の脳卒中患者さまを救うべく日夜活動しています。

必要があれば、当科と当院の「ニューロ当直」をご活用いただくとともに、この話題につき、皆さまにもっと詳しくお話しできる機会があることを願って止みません。

脳神経内科診療部長
兼 脳卒中・脳血管内治療室室長

しばた ますなり
柴田 益成



認知症診療

専門外来「もの忘れ外来」を
開設しています

認知症は様々な原因によって脳の細胞が障害を受け、記憶、思考、判断力、言語、見当識(時間・場所・人の認識)などの機能が慢性的に低下し、その結果、日常生活や社会生活に支障が生じている状態を指します。

わが国では認知症の患者数は約700万人とされており、65歳以上の約5人に1人が認知症になると予測されています。その中でも、原因の第一位はアルツハイマー型認知症と呼ばれる、いわゆる「もの忘れ」から始まる認知症で、約50〜70%を占めるとされています。

アルツハイマー型認知症の主たる原因であるアルツハイマー病では、発症の20年以上前から脳内に異常なたんぱく質が蓄積されることが知られており、この異常なたんぱく質を検出することで早期診断・早期治療が可能となってきました。

認知症に至ると、ご本人の尊厳が奪われるだけでなく、ご家族にも多大な負担がかかる可能性もあります。そのため、認知症に至る可能性のある方を早期に発見し、進行を

抑えることが重要であり、認知症の前段階である「軽度認知障害(MCI)」という概念が提唱されています。

MCIとは、脳の機能が健常な状態と認知症の中間の段階であり、なんらかの認知機能に障害があっても日常生活は自立している状態であり、明らかな異常がある認知症と異なり、症状は軽度で年齢相応と見逃されていることも少なくありません。

以上のように、認知症の早期診断、早期治療に対応するため、当院でも2024年度より専門外来として金曜午後に「もの忘れ外来」を開設いたしました。

自覚的なもの忘れのみの方から、性格変化・妄想などの精神症状を伴う方まで、原因の検索、治療、生活環境の調整を行っています。

アルツハイマー病が疑われるケースでは、2泊3日での髄液検査を含めた精査や、必要に応じて他院

一つでも気になる項目がありましたら
「もの忘れ外来」にご相談ください。

こんなことないですか？

- ☒ 何度も同じことを言うようになった
- ☒ よく探し物をするようになった
- ☒ 約束を忘れてしまうことが増えた
- ☒ 物の名前が出にくくなった
- ☒ 料理のレパートリーが減ったり、味付けが変わったりした
- ☒ 何度も同じ物を買ってくるようになった
- ☒ 賞味期限切れの食べ物が増えた
- ☒ 整理整頓ができなくなり、部屋が散らかるようになった
- ☒ 仕事のミスが目立ち、支障が出るようになった
- ☒ 薬の飲み忘れが増え、家に余った薬がたくさんある



でのPET検査による診断も提案しております。ご本人、もしくは近しい方で気になる方がいらっしゃいましたら、ぜひ一度当外来にご相談ください。

脳神経内科
兼 脳卒中・脳血管内治療室



はやかわ なおき
早川 直希

電気生理学的検査

神経伝導検査、体性感覚誘発電位（SEP）、
針筋電図などの生理学的検査を実施

顔や手足に生じる麻痺やしびれは、脳が原因とは限らず、脊髄から末梢神経を経て筋に至るまでの末梢経路の障害でもよく起こります。一般的に糖尿病などの代謝異常で生じる末梢神経障害や、手根管症候群・頸椎症などの整形外科疾患の頻度が高いですが、筋萎縮性側索硬化症や筋ジストロフィーなど神経筋難病、重症筋無力症、ギラン・バ

レー症候群などの自己免疫疾患も、稀ながら重要な鑑別疾患です。これらの末梢性の神経筋疾患は、画像検査のみの診断は困難で、神経伝導検査、体性感覚誘発電位（SEP）、針筋電図などの電気生理学的検査法が必要です。神経機能そのものを評価できる検査であり、神経筋疾患の診断に貢献でき、予後予測も可能です。

当院は日本臨床神経生理学会の認定施設として、2024年の一年間で800件以上行いました。臨床神経生理学会専門医は2名で、専門技術師総計8名と一緒に診療にあたっています。

また、当院では2021年から24時間体制で、脳卒中をはじめとする脳神経救急を開始しました。てんかんや意識障害など多彩な脳疾患の搬送率が増加し、脳波検査の件数も倍増し、年間500件近くになっています。これから多岐にわたる脳神経疾患の診断に欠かせない臨床検査部門として診療にあたります。



脳神経内科診療部長

たむら あきこ

田村 暁子

脳卒中はFAST！

大阪は大都会で、皆さまは様々な医学知識に触れている都会人のはずなのに、脳卒中になっても様子をみてしまい手遅れになるケースが一向に減りません。

以下の場合、脳卒中の可能性があります。

- ☒ **FACE** 片側の顔面のゆがみ
- ☒ **ARM** 片側の腕の脱力
- ☒ **SPEECH** 言語の障害
- ☒ **TIME**

上記が突然出現した場合、治療を急ぐ脳卒中の可能性が高く、
遠慮せず、ただちに救急車を呼んでください！
これら症状が急速に改善しても、「急いで！」しかるべき医療機関を受診してください。





先生教えて！

Vol.3

歯科定期検診では どのようなことをしているの？

歯科定期検診は、主に虫歯や歯周病を予防するために口腔内のチェックを行っています。虫歯はかみ合わせ面だけでなく歯根に近い部分や歯と歯の間にできやすく、定期検診では、自分では気付かないことが多い「治療した箇所の詰め物の間」や「神経を除去して治療した歯」についてもチェックします。

歯周病は歯肉の腫れや出血の有無、歯周ポケットの深さ、歯の揺れの度合いを測定します。これを「歯周基本検査（下のイラスト参照）」と言います。歯周病は初期の段階では自覚症状が少ないため、定期的な検査が重要です。レントゲン検査も口腔内の評価に極めて有用で、虫歯や骨の状態、歯根の病気の有無のほか腫瘍や膿瘍、顎関節疾患などの疾患が見つかることがあります。

また虫歯や歯周病を予防するため、クリーニングやブラッシング指導なども行います。クリーニングでは普段の歯磨きで除去できない歯垢

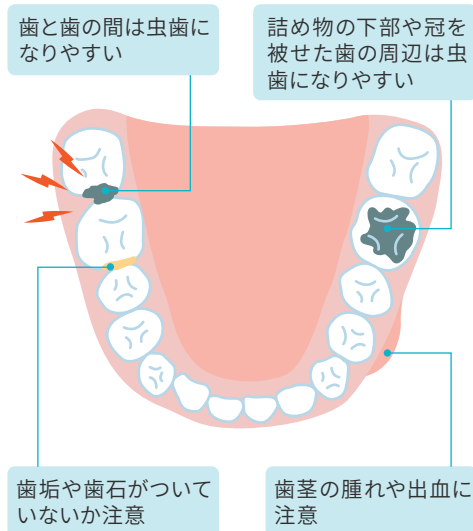
や歯石を除去し、口腔内を清潔にします。

ブラッシング指導では歯並びや歯磨きの癖などのため、一人ひとり異なる適切な磨き方を提供します。定期検診は口腔内の健康を維持するには3ヶ月ごとに受診していただくことが理想で、早期発見・早期治療につながります。

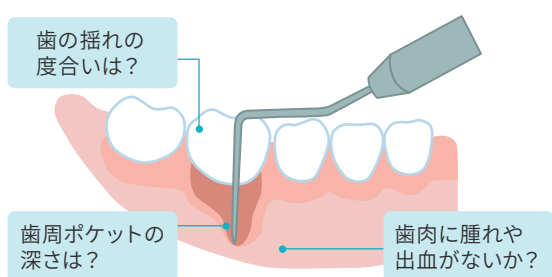
歯の健康を維持し、「8020」(*)を目指して頑張りましょう！

※80歳で20本以上自分の歯を保つこと。生涯豊かな人生を過ごすために推奨されています。

✓ 口腔内のチェック



🗨 歯周基本検査



歯科定期検診

目的	虫歯や歯周病予防
実施内容	虫歯のチェック 歯周病基本検査 レントゲン検査 (虫歯、歯周病、骨の状態、歯根の病気などの評価) クリーニング ブラッシング指導
推奨頻度	3ヶ月ごと

※実施内容は受診医療機関により異なります。



歯科診療部長 森 悠衣

Topics /



9月で放送30回！「こうじ先生のメタボ対策」

気になるお腹の脂肪、見て見ぬふりしていませんか？

山本浩司（やまもと こうじ）副院長が、メタボの気になる疑問や不安に、専門家の視点からお答えするラジオ番組「こうじ先生のメタボ対策」。9月で放送30回を迎えます。

メタボの基礎知識、季節ごとの注意点、食事や運動など今日からできる具体的な対策まで分かりやすく軽快なトークで解説します。

放送はYES・fm (78.1MHz) で毎月第4火曜日の12:30から。聴き逃した方やもう一度聴きたい方は、YouTubeの公式チャンネルで過去の放送をいつでもお聴きいただけます。



住友病院チャンネル





連携医療機関のご紹介

住友病院では地域の医療機関との相互連携を密にし、最善の治療環境の実現をめざしています。このコーナーでは、当院の連携医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

なんば山田クリニック

診療科目：内科、脳神経内科、脳神経外科

〒556-0011

大阪市浪速区難波中2-7-23 広和ビル5F

TEL 06-6641-0007



院長 山田 郁子 Ikuko Yamada
副院長 山田 淳二 Jyunji Yamada

●アクセス

南海本線・高野線
「なんば」駅より徒歩すぐ



公式ホームページ



大阪有数の繁華街、難波駅近くに2010（平成22）年、内科・脳神経内科クリニックとして開院。2022（令和4）年からは、脳外科専門医の山田淳二副院長と共に診療されています。

▶診療内容について教えてください。

一般内科はもちろん、脳神経内科疾患の治療、睡眠時無呼吸症候群のCPAP治療、片側顔面痙攣（けいれん）や上下肢痙攣に対するボツリヌス療法なども行っています。

▶訪問診療も行っていますね。

地域は大阪市南部から堺市と広範囲にわたり、ほぼ毎日訪問診療に伺っています。脳外科疾患については和歌山まで訪問することがあります。神経難病の方や通院拒否のある認知症患者さまが多く、女性の認知症患者さまは男性医師を嫌がる方もあり、女性ならばと受け入れてくださる方もあります。在宅でも寝たきりの患者さまに対するボツリヌス療法や胃瘻（いろう）交換なども行っています。脳神経外科では在宅でITB（バクロフェン髄注）療法もしています。在宅療養は、訪問看護師さん、薬剤師の先生、リハビリの先生などとの多職種連携が大事だと考えています。

▶メッセージをお願いします。

地域のかかりつけ医として、患者さまが安心して毎日が送れるよう、これからも尽力していきたいと思っています。

今年6月に開院したハートフルクリニック。7月には加納総合病院リハビリテーションセンターがこちらの2・3階に移転し、医療提供と介護・リハビリテーションが一体的に行える施設となっています。

▶芦田宗宏院長は消化器内科・内科を専門とされています。

はい。大学病院や市中病院の経験を活かし、消化器疾患はもちろん、高血圧・糖尿病・脂質異常症といった生活習慣病を含めた内科疾患全般の診療に幅広く取り組んでいます。また、救急センターの勤務経験のある循環器内科の専門医も在籍し、早期発見・早期治療を心がけています。

▶感染予防対策も行っています。

発熱症状の患者さまの診療も行っていますので、院外から直接出入りができる隔離個室や複数の診察室を備え、待合スペース・動線を分けるなど、院内での感染予防に配慮しています。

▶2・3階には「ハートフルリハビリセンター」が併設されています。

加納総合病院と連携し、当クリニックにかかっておられる患者さまをはじめ、身体的にリハビリが必要な方に診療面と身体的機能の維持をトータルマネジメントしています。

▶メッセージをお願いします。

患者さまが元気で健やかに生活できるよう地域の皆さまの健康寿命を支えていきたいと思っています。無料の健康相談や健康教室も行っていますのでぜひお越しください。

社会医療法人協和会 ハートフルクリニック

診療科目：内科、消化器内科、循環器内科

〒531-0041 大阪市北区天神橋7-4-5

TEL 06-6357-0810



院長 芦田 宗宏 Munehiro Ashida

●アクセス

Osaka Metro
堺筋線・谷町線
「天神橋筋六丁目」駅
6番出口より徒歩1分



公式ホームページ



第10回 「世界糖尿病デー」イベントを開催します！

11月14日は「世界糖尿病デー」(※)です。糖尿病について、正しく知っていただくイベントを今年も開催いたします。当日は、わくわく体操や血糖値・身長体重測定、相談コーナー(医師・栄養士)の参加型イベントだけでなく、先進デバイスや健康メニューサンプル、ポスター展示もございます。ちょっとしたことでお気になることがありましたら、ぜひ医師や看護師、多職種の専門スタッフがいますのでお気軽にお声掛けください。ご来場をお待ちしています！

※「世界糖尿病デー」(World Diabetes Day)とは

拡大を続ける糖尿病の脅威を踏まえ、国際連合は、平成18年から毎年11月14日を「World Diabetes Day」に認定し、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養について啓発活動を推進することとしました。

日時 11月14日(金) 9:00~12:00

会場 住友病院 1階正面玄関 他1階エリア



昨年の様子

健康管理センターより 脳ドックコースが 新しくなりました！

お問い合わせ 14階健康管理センター

TEL: 0570-01-3335 (平日: 10:00~16:00)

※ただし、「ミレボ」だけの検査は行っておりません。

当院の脳ドックコースでは、認知機能検査「ミレボ」[®]を新規導入しました。約3分間、目で画像を見つめていただくだけで認知機能を客観的に評価できる検査です。「最近もの忘れが多い気が…」という方におすすめです。ぜひ一度当院の脳ドックをご受診ください。



2025年度 市民公開セミナーのご案内

当院では、市民の皆さまに医療に関する理解を深めていただき、健康促進にお役立ていただくことを目的にセミナーを開催しています。参加費は無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。

開催日	テーマ(仮題)	担当科(予定)
12月11日(木) 14:00~15:00	白内障手術の今 ~最新の眼内レンズと選び方~	眼科
2026年3月12日(木) 14:00~15:00	いまさら聞けない? メタボの知識	内分泌代謝内科



※セミナー開催予定は予告なく変更する場合がございます。スケジュール、最新情報、申し込み方法等詳細は、当院ホームページでご確認ください。

年末年始の診療体制 年末年始の診療日は下記の通りです。ご注意ください。

2025年12月26日(金)	12月27日(土) ~2026年1月4日(日)	1月5日(月)
最終診療日	通常診療なし(急患のみ)	通常診療

今号の広報誌「Sound」の取材に関しては、マスク着用のうえ実施し、撮影時のみマスクを外して行っています。

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-20
TEL.06-6443-1261(代表)
【受付時間】8:30~11:30、12:30~15:00

「Sound」には、「音」のほか「聴診する」「健康な」「確かな」という意味も含まれています。

住友病院より「Sound」◎発行人: 金倉 譲 ◎編集: 西野 秀、細島 研一、川原 知子、小島 夢輝

「こんなことが知りたい」など、本誌についてのご意見・ご感想を当院ホームページの「お問い合わせ」フォームにぜひお寄せください。よりよい誌面づくりの参考にさせていただきます。住友病院より【Sound vol.67】2025年10月1日発行



住友病院は、大阪府がん診療拠点病院です。

住友病院

住友病院

検索

